自治体名:京都府 会計:連結会計

貸借対照表(BS)

(単位:百万円) 科目名 金額 科目名 金額 【資産の部】 【負債の部】 固定資産 2,893,100 固定負債 2,410,781 有形固定資産 2,558,916 地方債等 2,178,778 事業用資産 長期未払金 667.672 418 十地 458.574 退職手当引当金 205 584 立木竹 18,416 損失補償等引当金 896 建物 559,579 その他 25,105 建物減価償却累計額 -378,878 流動負債 124,446 1年内償還予定地方債等 工作物 6,857 85,640 工作物減価償却累計額 -3,14711,589 未払金 船舶 3,761 未払費用 3,128 船舶減価償却累計額 -2,457 前受金 411 浮標等 前受収益 678 浮標等減価償却累計額 賞与等引当金 14.741 航空機 預り金 3,768 航空機減価償却累計額 その他 4,492 その他 45 負債合計 2.535.227 その他減価償却累計額 -29【純資産の部】 4,952 2,927,955 建設仮勘定 固定資産等形成分 インフラ資産 1,850,515 余剰分(不足分) -2,493,167 他団体出資等分 土地 416,551 11,016 建物 16.725 建物減価償却累計額 -11,000 4,786,079 工作物減価償却累計額 -3,403,168 30,485 その他 その他減価償却累計額 建設仮勘定 36,014 物品 89,011 物品減価償却累計額 -48.281 無形固定資産 27 140 ソフトウェア 1,735 その他 25,406 投資その他の資産 307,044 投資及び出資金 87.752 有価証券 520 出資金 87,233 その他 長期延滞債権 4.691 長期貸付金 46.736 基金 167,983 減債基金 110,449 その他 57.534 その他 157 徴収不能引当金 -277 流動資産 87,932 現金預金 29,888 未収金 14,035 短期貸付金 709 34,147 財政調整基金 21 減債基金 34,126 棚卸資産 8,724 その他 742 徴収不能引当金 -312 繰延資産 0 純資産合計 445,805 2,981,032 負債及び純資産合計 2,981,032 資産合計

年度:平成28年度

自治体名:京都府 年度:平成28年度

会計:連結会計

行政コスト計算書(PL) (単位:百万円)

科目名	金額
経常費用	846,463
業務費用	552,091
人件費	302,877
職員給与費	254,254
賞与等引当金繰入額	15,057
退職手当引当金繰入額	21,243
その他	12,324
物件費等	212,368
物件費	68,341
維持補修費	20,039
減価償却費	107,311
その他	16,678
その他の業務費用	36,846
支払利息	21,643
徴収不能引当金繰入額	397
その他	14,805
移転費用	294,372
補助金等	274,255
社会保障給付	13,845
その他	6,271
経常収益	102,767
使用料及び手数料	62,374
その他	40,392
純経常行政コスト	743,696
臨時損失	2,290
災害復旧事業費	725
資産除売却損	150
損失補償等引当金繰入額	97
その他	1,319
臨時利益	407
資産売却益	348
その他	59
純行政コスト	745,579

自治体名:京都府 会計:連結会計

純資産変動計算書(NW) (単位:百万円)

科目名 合計 固定資産等形成分 余剰分(不足分) 他団体出資等分 前年度末純資産残高 580,955 3,027,216 -2,456,961 10,700 純行政コスト(△) -745,579 0 -742,629 -2,950財源 642,344 639,072 3,272 税収等 552,152 551,694 458 国県等補助金 90,192 87,378 2,814 本年度差額 <u>-103,55</u>7 322 -103,235 固定資産等の変動(内部変動) -73,656 73,656 有形固定資産等の増加 35,590 -35,590 有形固定資産等の減少 -112,249 112,249 貸付金・基金等の増加 272,800 -272.800 貸付金・基金等の減少 -269,797 269,797 資産評価差額 -337 -337 無償所管換等 1,439 1,439 他団体出資等分の増加 他団体出資等分の減少 比例連結割合変更に伴う差額 -0 -0 -0 0 その他 -26,706 -33,017 -6,311 本年度純資産変動額 -135,150 316 -99,261 -36,206 本年度末純資産残高 445,805 2,927,955 -2,493,167 11,016

年度:平成28年度

自治体名:京都府 会計:連結会計 資金収支計算書(CF) 年度:平成28年度

(単位:百万円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
 業務支出	744,023
 業務費用支出	450,645
人件費支出	312,470
 物件費等支出	98,610
支払利息支出	21,355
その他の支出	18,209
移転費用支出	293,378
補助金等支出	274,255
社会保障給付支出	13,862
その他の支出	1,312
業務収入	706,787
税収等収入	548,314
国県等補助金収入	66,496
使用料及び手数料収入	55,072
その他の収入	36,906
臨時支出	3,462
災害復旧事業費支出	725
その他の支出	2,737
臨時収入	1,054
業務活動収支	-39,643
【投資活動収支】	55,515
投資活動支出	192,715
公共施設等整備費支出	38,013
基金積立金支出	51,292
投資及び出資金支出	908
貸付金支出	101,402
その他の支出	1,100
投資活動収入	173,483
国県等補助金収入	26,683
基金取崩収入	39,983
貸付金元金回収収入	101,970
資産売却収入	2,838
その他の収入	2,009
投資活動収支	-19,231
【財務活動収支】	
財務活動支出	185,131
地方債等償還支出	183,427
その他の支出	1.704
財務活動収入	244,423
地方債等発行収入	243,569
その他の収入	854
財務活動収支	59,292
本年度資金収支額	417
前年度末資金残高	25,943
比例連結割合変更に伴う差額	0
本年度末資金残高	26,360
前年度末歳計外現金残高	3,540
本年度歳計外現金増減額	-12
本年度末歳計外現金残高	3,528
本年度末現金預金残高	29,888

注 記(連結財務書類)

1 重要な会計方針

(1) 作成方法

連結対象とされる団体等の財務処理に関する基準に基づき作成された法定決算書類を基本として、連結を行っています。なお、連結対象団体の間での取引等については、相殺消去により調整を行っています。

(2) 対象会計範囲

全体財務書類に加え, 次の団体を対象としています。

団体の種類	団体名
地方独立行政法人	京都府公立大学法人
一部事務組合・広域連合	京都地方税機構関西広域連合
地方三公社	京都府土地開発公社 京都府道路公社 京都府住宅供給公社
出資法人(出資25%以上)	(公財)京都府国際センター (社福)京都府村社会福祉事業団 (一財)京都府中小公会交流を受して、会社)京都府中中公会交流を受して、会社)京都府民農食のみや衛生指導協会 (公社)京都府農業食のみの衛生指導協会 (公財)京都市府農業食の産生指導協会 (公財)京都市府市村、市田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・原則として取得原価

(4) 出資金の評価基準及び評価方法

- ① 市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・会計年度末における市場価格
- ② 市場価格のないもの・・・・・・出資金額

(5) 有形固定資産等の減価償却の方法

- ① 有形固定資産(リース資産を除きます。)・・・・定額法 ただし、一部の連結対象団体は定率法によっている他、鉄道事業取替資産は取替法 によっています。
- ② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・定額法 ただし、一部の連結対象団体は定率法によっています。

(6) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金については、過去の不納欠損率を勘案し、徴収不能見込額を計上しています。 長期延滞債権については、過去の不納欠損率を勘案し(又は個別に回収可能性を検討 し)、徴収不能見込額を計上しています。

短期貸付金については、過去の不納欠損率を勘案し(又は個別に回収可能性を検討し)、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金 期末自己都合要支給額を計上しています。

③ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の 見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(7) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引

(リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(8) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金 (手許現金及び要求払預金)及び現金同等物 なお、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(9)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。ただし、一部の連結対象団体については、税抜方式によっています。

(10) 連結対象団体の決算日が一般会計等と異なる場合の処理

決算日と連結決算日の差異が3か月を超えない連結対象団体については当該連結対象団体の決算を基礎として連結手続を行っていますが、決算日と連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っています。

2 重要な会計方針の変更等

従来、総務省改訂モデルにより財務書類を作成していましたが、総務省の要請を受け、統一的な基準による財務書類へ変更しています。

このことにより計上方法や表示方法を変更しております。

3 追加情報

(1) 出納整理期間

出納整理期間を設けている団体においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了 した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体と出納整理期間を設けている団体との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(2) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。